

ひとりから



特別付録つき

子ども会情報紙『ひとりから』

発行日/2018年3月1日

発行/真宗大谷派(東本願寺) 青少幼年センター
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-351-9599
E-mail: oyc@higashihonganji.or.jp



賢誓寺子ども会



蓮ちゃん通信 その①



2018年4月18日(水)～19日(木)

「ひとりからはじめる子ども会」講習会

東北開催

参加者のお寺の状況をスタッフが共に考え、子ども会の実践について体験していただきながら学ぶ講習会を開催します。「お寺で子ども会をはじめたい!」そんな皆様のご参加、お待ちしております!!



〈会場〉東北別院・
仙台教務所

〈定員〉20名/3月20日(金)申込締切 ※詳しくは、「真宗」誌2月号・3月号をご覧ください。

2018年4月26日(木)

「絵本ではじめる講習会」開催!

お寺で子どもたちに絵本にふれてもらうことの意味、絵本による仏教と子育て、仏教の視点からの絵本選びなどについて、真宗大谷派僧侶であり子どもの本専門店代表の蓮岡修さんにお話いただきます。



〈会場〉真宗教化センター
「しんらん交流館」

〈定員〉30名/4月20日(金)申込締切

※詳しくは、「真宗」誌3月号・4月号をご覧ください。

問い合わせ TEL.075-354-3440 (青少幼年センター)

「聞いてほしいことがあるんだけど」
一人の青年から電話が入った。
彼とは12年前にお寺の子ども会で出会った朋友だ。
いつもは元気な彼だが、その日は何故か様子がおかしい。
「どうした?」と聞くと、
現在付き合っている彼女と赤ちゃんを授かり
結婚を決意したが、
これからの人生設計に悩んでいた。
お寺の子ども会は一人と朋友になれる尊さがある。
私も、悩んだ時は彼に聞いてほしいと思う。
そんな関係を阿弥陀如来は願って下さっている。

青少幼年センター幹事 江馬 雅臣

自分の影と鬼ごっこしよう

企画調整局参事
前 青少年センター主幹

松田 亜世

ほら、西の空を見てごらん。真っ赤な夕日!!

夕焼けって、とっても綺麗だね。日が沈むと必ず夜になって、一日が終わってしまう淋しさはあるけど、また朝になると、お日さまは朝日となって昇ってくるよね。そうやって、お日さまは毎日毎日昇っては沈んで、昇っては沈んでを繰り返して、一日も休まず私たちに光を届けてくれる。

こんどは、お寺のお堂の真ん中を見て欲しいんだけど、そこにはどなたが立っておられますか??

そつ、ののさま。阿弥陀さまが立ってるね。このお寺の阿弥陀さま、座ってた時ってあった?

陀さまって、ずーっと立ってるんだよね。なんでだろう?

座って休む暇がないほど、私たちのことが心配なんだって。阿弥陀さまは一日も休まず、みんなが寝てる時も、夜も昼も立ちっぱなしで私のことを心配してくてる。「阿弥陀さま、そんなに心配しないで、たまには座って休んでください」ってお願いしても、人間のお願いなんか、ちっとも聞いてくれないで、阿弥陀さまは黙って、ずーっと立っておられるんだよね。まったく、お節介だよね。

そんな阿弥陀さまという仏さまは、光の仏さまともいわれてるんだよ。阿弥陀さまのお顔の後ろを見ると、まるい金色のものが見えるでしょ?あれは仏さまの光なんだ。阿弥陀さまはどんな時でも、私たちのことを照らしてくれてる。まる



子どもたちと聞く法話

でお日さまの光みたいだね。

そつそつ、今日はせつかく綺麗な夕焼けも見えるし、ちよつとお堂の外に出てみようか。

やっぱり綺麗だね、夕焼け。ちよつとちよつと、みんな後ろを振り返ってみて!ほら、みんなに長い影ができてるよ。右手上げてみて。

影も右手上げたね。じゃあ、左手!

お、影も左手上げたね。そしたらこんどは、走ってみようか?自分の影と鬼ごっこするよ。ヨーイドン!!

影も一緒に走り出したね。影がついてくる。ついてくる...さあ、逃げて逃げられるかな?走って走って!!

ハア、ハア... ああ、疲れた。影から逃げ切れた人はいる?

誰もいない?誰も自分の影からは逃げられなかったね。影はどこまでも私についてきた。そして、影の反対側には必ずお日さまがあったね。影ができるころには、必ず光があるんだよね。光がある限り、影からは逃げきれないってことだね。ああ、しんどかった...

お日さまの光っていつのもお節介だね。どこまでも私の影を教えてくれるんだもん。「もういいいい!!」って言っても、自分から自分の影は絶対離れないもん

ね。「あなたはそこにいる!」って、ず

ーっと教え続けてくれてるんだよね。お日さまの光って、阿弥陀さまに似てる。阿弥陀さまもお日さまの光みたいに、私たちを照らしながら、どんなことがあっても「あなたはそこにいるんだよ」って私に教えてくれてるんだよね。

悲しかったり、淋しかったりしたら、お日さまの前に立ってみるといいと思う。お日さまに照らされると、必ず自分の影を確かめられる。「ああ、私はここにいたな」ってね。

阿弥陀さまは、いつでもどこでも「みんなどこにいますか?何してますか?大丈夫ですか?」って私のことを心配してくれてるんだ。そんな阿弥陀さまの問いかけに「私はここにいますよ」ってこたえる言葉が、「南無阿弥陀仏」って言葉なんだね。

自分が一人ぼっちに思えた時は、お日さまの前に立って、「この「南無阿弥陀仏」の話を思い出して欲しい。どんなことがあっても、自分の足元を離れない自分の影を確かめたら」ああ、私はここに生きているなあ「って、「南無阿弥陀仏」とそつと声に出してみても、阿弥陀さまは、必ず私を離れずそこにいるから...

さあ、明日もお日さまの前に立って、自分の影と鬼ごっこしよう!

子ども会の チラシをつくろう!

ひとりからはじめる
イベントレシピ

子ども会をはじめたいけど、どうしたらいい?

そんなときは、まずチラシ(案内文)を作ってみましょう。実際に作ってみることで、具体的に「やってみたい子ども会」のイメージがふくらみます。

さあ、Let's try!



(例)

〇〇寺



はじめての おてらの子ども会

みんなで集まって、楽しい時間をすごそう!
おともだちをさそってきてね!

ポイント①

小さい子でも
読めるよう
ルビを
つけましょう

かんたんなイラストを
そえてみましょう

別紙の切り貼りして使える
素材集を活用ください。

ポイント②

日時を決めるとき
学校・地域の
行事と重ならない
ように注意

ポイント③

日時・場所・
もちものなど
伝えたい内容は
簡潔に

ポイント④

主催者側の
「来てほしい」気持ちを
一言添えると
すてきですね

☆とき

4月8日(日)

ごご1時より3時ごろまで

☆ばしょ

〇〇寺 本堂

☆ないよう

おつとめ・おはなし・えほん・おやつ

☆もちもの

お念珠・おつとめの本

☆さんかひ

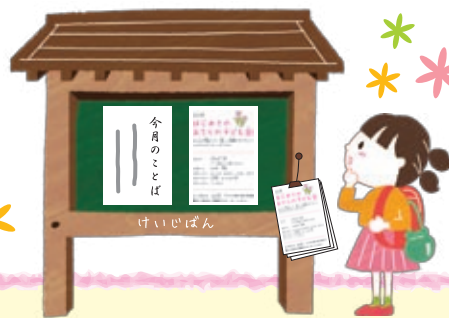
いりません

といあわせ 〇〇寺 でんわ 000-000-0000
親子で参加も大歓迎です。まっています!

【案内の方法】

- ◎寺報等と一緒に発送する
- ◎ポスティングする
- ◎月参りなどで手渡す
- ◎知りあいの子どもたちに配ってもらう

- ◎掲示板に貼り、さらに持ち帰ることのできるようしておく



案内文等各種文書のサンプルは、青少幼年センターのHPでダウンロードできます。

東本願寺 青少幼年センター

検索

第20号発行記念! 特別付録 「ひとりからはじめる子ども会 チラシ&切り貼り素材集」

切り貼りして使える子ども会チラシ(案内文)の素材集を本号の付録としています。子ども会への第一歩! イベントレシピを参考に、ぜひ活用ください。



蓮ちゃん通信 その②



キャラクターシールも ご活用ください!

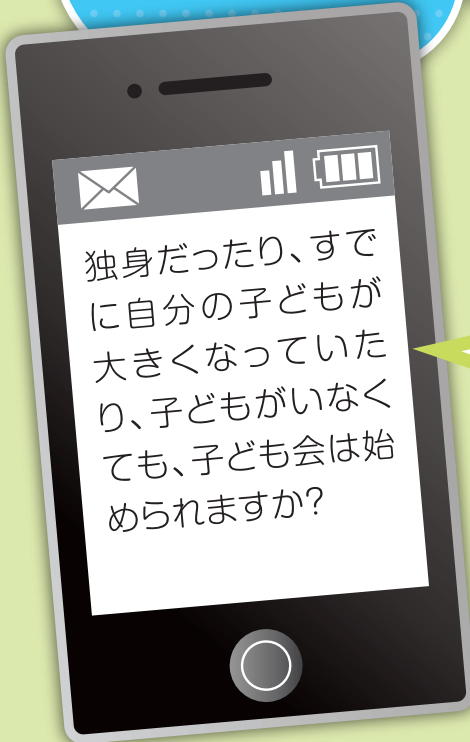
鸞恩くん、蓮ちゃん、あかほんくんがデザインされたシールです。チラシの余白に貼って使っていただける他、子ども会の記念品や月参りでの縁づくりの「おみやげ」としてもご活用ください。

[無償] お求めは、青少幼年センターまで。

Re:

サガエさんおしえて

子ども会での悩みや困りごとをサガエさんにお尋ねするコーナーです。



独身だったり、すでに自分の子どもが大きくなっていたり、子どもがいなくても、子ども会は始められますか？

佐賀枝 夏文

1948年生まれ。大谷大学名誉教授。児童福祉施設等での児童指導員、心理判定員を経て、現在は高倉幼稚園長で青少幼年センター研究員。カウンセラーネーム「サガエさん」です。東本願寺出版より『すべてが君の足あとだから—人生の道案内—』発売中。



あなたの「子ども会」をはじめませんか

子どもたちと出会う機会の少ない方や、距離の開いた方からの「子ども会」をはじめるとあたってのご質問に、お応えしてみたいとおもいます。

たしかに、子どもが身近にいる方でしたら、その延長として「子ども会」とつながるとおもいますが、そうでなければ多少の不安や躊躇ちゆうちゆうされる気持ちがあるかもしれません。しかし、「子ども会」を開いてみようとお考えでしたら、その意義は充分にあるといえます。

ある方のお話から…

ある方がつぶやくように「サガエさん、子どもを見ていると、わたしが生まれてきた意味がわかったような気持ちになりました」と話されたことが、こころに残っています。その方の人生のあゆみは実につらいあゆみでした。そのことばに託されていたのは、「無量寿いのちを受け継いでくれる子どもたちがここにいることが、ありがたい」という内容でした。

わたしたちが誕生して、さまざまなことに懸命に努力し、尽力して生きるのは、無量寿いのちのバトンを子どもたちに手渡すことにほかなりません。無量寿を継承する子どもたちに仏法を手渡ししなければならない役割が、わたしたちにはあります。

真宗寺院が無量寿の目覚めの場所として相続されてきました。さあ、あなたの出番です。「子ども会」をはじめてみましょう。こころから応援しています。

子ども会の悩みや困りごとをお寄せください！

これから子ども会をはじめようとする方や、すでに開かれている方のご質問に「Re:サガエさん教えて」のコーナーにてお答えします。

宛先は…oyc@higashihonganji.or.jp

「仏の子ども」の誕生日！
帰敬式を実践しましょう♪

蓮ちゃん通信 その③

20歳以下の帰敬式の礼金が改定されています！

昨年1月、20歳以下の帰敬式の礼金が5,000円に改定されました。「ひとりからはじめる青少幼年教化」の具体的な形として、帰敬式を実践しませんか？子どもの時にいただいた法名が大切なご縁となって、生涯を通した仏道の歩みとなりますように…。

問い合わせ 研修部・帰敬式実践運動推進事務局 TEL.075-371-9185



◎「ひとりから」はおかげさまで第20号を迎えました。付録は「子ども会のチラシが上手く作れない」との声がヒントとなり、生まれました。「成功体験だけでなく、失敗もまた歩む力になるよ」という仲間の言葉を胸に、今後もしるるな形の子ども会に寄り添う紙面を作っていきたいと思えます。(編集長 池崎方子)

◎私一人がご本尊の前に座れば「ひとりからはじめる」子ども会にゼロはなご、そう思います。「自信の他に教人信なし、自信おのずから教人信である」との先達の言葉があります。「ひとりから」とは、まさに真宗同朋会運動を言い当てる青少幼年教化の原点の言葉…。創刊号から本号まで、主幹として紙面づくりに携わらせていただきました。今後は寺院活性化支援室の青少幼年教化支援担当として皆さんと一緒にさせていただきます。ありがとうございます。(前青七主幹 松田里世)

編集後記



真宗大谷派の青少幼年教化の情報をお届けします。

<https://www.facebook.com/oyc.hitorikara/>

※facebookの個人アカウントをお持ちでなくてもご覧いただけます。

青少幼年センターホームページ

東本願寺 青少幼年センター

検索

ぜひ、ご覧ください!!